

じいちゃんとの思い出の川

五年 松沼 悠太

ぼくの家のお近くには、利根川があります。

小さいころから、じいちゃんによく見に連れていってもらいました。

じいちゃんは、泳ぎが上手でした。

ぼくが「何で泳げるの」と聞いたら、じいちゃん「子供のおころ、利根川を泳いで渡ったからだよ。もっと水もきれいだったよ」と聞きました。

梅雨の時期には、ハクレンが卵を産みくすのを見にいきました。

台風の時も、水が増えるので、見に行きました。

じいちゃんは、つりも上手でした。

ぼくが、つりを好きになったのは、じいちゃんと二人で、つりに行っただけです。

つりざおもたくさんもかりました。

ぼくは、利根川は思い出がいっぱいの川です。

川がきれいになるように、魚もたくさん
えるようになってもらいたいです。

退院したら、「フリに行くべ」と、いいち
ちゃんと約束でした。

今年の夏休みに、じいちゃんか天国にいっ
てしまいました。

利根川を見ると思いだします。

とっても、さみしいですけど、おじいちゃん
のかわりに川を見てがんばっていいこと思い
ます。